

【12月議会の補正予算が提案されました】 申入れ・一般質問で被災者の声を届けた災害支援が実現

● (新規)「止水板」設置助成 1,000 万円

- 市内の住宅・事務所で過去に浸水被害が発生、ハザードマップ・浸水想定区域図で浸水の恐れがある地域の家屋等所有者に「止水板」設置・購入助成 (補助の内容) 補助率 1/2 上限 50 万円

● (新規) 軽自動車等浸水被害特例給付金 1,150 万円

- 2025年8月豪雨による浸水で廃車又は修理を行った車両(自家用・業務用ともに)を対象に給付します。
- 給付率: 廃車は軽自動車税全額、修理は 1/2

● (新規) すまい再建助成事業 210 万円

- 2025年8月豪雨の被災世帯へすまい再建のための費用助成を行う。
(2027年度までの2年間申請受付)
- (対象) 応急仮設に入居中の世帯、罹災判定が中規模半壊以上、罹災判定が半壊で解体の世帯、被災者生活再建支援法の長期避難世帯

● (拡充) 防災情報伝達体制整備事業 3,960 万円

河川水位と連動してサイレン吹鳴が自動的に行われるための設備改修等を2026年5月までに完了する。(次の出水期前に)

● (拡充) 農地等災害復旧経費 9億3,000 万円

2025年8月豪雨被害の復旧について、追加事業を行う。

＜その他の補正＞

*漱石振興支援事業 3,500 万円

漱石の第1旧居地への「夏目漱石ミュージアム」設置へ補助

*新入生交通安全対策事業 850 万円 新1年生への黄色い帽子配布

*児童育成クラブ開設準備経費 420 万円 富合児童育成クラブ新設

*市電再生プロジェクト専門家会議運営経費 300 万円



日本共産党

熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

発行: 日本共産党熊本市議団 HP: 共産党 熊本市議団

NO. 1435
2023年11月30日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



検索



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

熊本城駐車場 来年4月から料金2倍に

熊本城周辺の駐車場6カ所の利用時間を変更し、使用料金を2倍にする「熊本市営駐車場条例」改正が提案されています。2026年4月から実施予定です。

利用時間は右記のように、供用時間が長くなります。

市営駐車場は、利用しやすい公共施設にするため設置する施設です。民間に合わせて引上げるべきではありません。

【対象の駐車場】

- 熊本城二の丸駐車場
- 熊本城三の丸第一駐車場
- 熊本城宮内駐車場
- 熊本城三の丸第二駐車場
- 熊本城桜の馬場駐車場
- 桜の馬場観光交流施設駐車場

【利用時間】

(1) ~ (4) : (夏) 8:00~20:30
(冬) 8:00~18:30
(5) : 24時間供用

<バス>	(現行)	(改正後)
基本料金	3時間以内 700円	3時間以内 1,200円
超過料金	1時間ごと 200円	1時間ごと 400円

<普通自動車>

基本料金	2時間以内 200円	2時間以内 400円
超過料金	1時間ごと 100円	1時間ごと 200円

上野みえこ議員の一般質問あんない

日時: 12月3日(水)

午前11時10分~12時10分(60分)

場所: 市役所議会棟5階・本会議場

*どなたでも傍聴できます。

*インターネットでの同時中継は、熊本市議会 HP で

【質問項目】

- 健軍自衛隊へのミサイル配備
- 地下水保全
- 市長の政治姿勢
- ・生活保護問題
- ・物価高騰対策
- ・市庁舎整備
- ・その他

※東区法律相談の変更、12月4日(木)午後3時から (予約) 328-2656

「住まいは人権」・安心して暮らしやすい公営住宅へ

住宅予算を増やして浅型お風呂への切り替え、水回りや外壁、鳩被害などの改善を…市・県に要望



11月13日に熊本県、18日に熊本市、それぞれの住宅課へ、県営、市営の各団地から寄せられた要望を市民連の皆さんと届け、改善を求めました。両日とも団地居住者が参加し、改善を求めて「生の声」を伝えました。

高齢化している居住者の実態に即した対応・管理を

【市営住宅の改善要望】

熊本市役所で、熊本市住宅課へ市営団地の改善について要望を行いました。空き部屋対策、お風呂の浅型浴槽への取り替え、網戸の取り替え、傷んだ床や畳の交換、ベランダの鳩対策、換気扇や玄関ベルの取り替えなど、さまざまな要望を届けました。外回りでは、樹木の管理や草取りなどの改善を求めました。床の張替えや浅型浴槽は、急いで改善すると回答しました。

熊本市が管理する約13000戸の団地の多くの老朽化が進んでいます。団地にニュースを届けて、改善要望を集め、市へ届けました。

古い団地の集約化の方針が出され住み慣れた住宅を離れる方も出てコミュニティが壊れます。市役所建替えよりも、安心して住める団地の改善などを優先することを求めました。

(市への要望)	(県への要望)
・中央区 3	・2
・東区 9	・6
・北区 5	・2
・西区 5	・0
・南区 6	・0
(合計) 28件	10件

【県営住宅の改善要望】

県営住宅については、熊本県庁で県の住宅課へ居住者の改善要望を届けました。

県営住宅も市営住宅と同じで経年劣化が進み老朽化しています。水回りや床の傷み、設備の不具合が多々あります。

特に、要望が多かったのが、お風呂の型が古く(約70%がバランス釜)、浴槽が深いので浅型浴槽への取り替えは切実です。空き室になってから浅型浴槽に入れ替えているとの

ことでしたが、それではいつになるかわからないので予算確保を急ぐように要望しました。

畠替えも30年経っているのに予算の関係で検討と回答でしたので、規定どおりに実施するよう求めました。

火災などの緊急時対策や共用部分の草取り、樹木の管理も入居者の高齢化が進む中、大きな課題になっています。住み心地の良い団地になるように、住宅予算を増やして、入居者の願いに応えるよう要望しました。

<参加者の声>

- ・火災対策などで消火器を設置してほしい。
- ・風呂の浴槽が高いので入れない。急いで改修してほしい。
- ・部屋に仕切りのドアがなくて、熱効率が悪い。希望者にはドアをつけてほしい。
- ・お風呂がカビだらけなので、自分で塗装したいが退去のときに原状復帰が求められるので不安。
- ・空き室が多いので、不安。消防施設の不具合のためとのことだが急いでほしい。
- ・膝が悪いのでエレベータのある団地に引っ越させてほしい。